

報道関係各位

2019年 1月 16日

公共交通オープンデータ協議会

「第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ」開催

－ 公共交通分野で過去最大規模のデータを提供 －

首都圏の多数の公共交通事業者や ICT 事業者が参画する、公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 INIAD 東洋大学情報連携学部 学部長）では、2019年1月16日より2020年3月31日まで、「第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ」（以下「第3回チャレンジ」）を開催します。第3回チャレンジは、新たに東京都も共催に加わり、本協議会の主催、国土交通省、東京都、INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センターの共催により実施します。東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社をはじめ、14社局の鉄道事業者、13社局のバス事業者、5社の航空・空港関係事業者からのデータが公開されます。第2回から4社局増え、過去最大規模の公共交通分野のオープンデータコンテストとなります。

第3回チャレンジでは、路線情報、時刻表情報、対訳表などの静的データ、電車やバスのリアルタイムな位置情報と運行情報、航空機の発着情報などの公共交通関連データを公開します。また、駅構内図、施設情報、歩行空間ネットワークデータ等のデータを整備・公開するほか、屋内や地下空間のスムーズな移動支援のために Bluetooth Low Energy ビーコン等を設置し、そのデータも公開する予定です。

首都圏には、公営の交通機関だけでなく、多数の民間交通機関が複雑に乗り入れています。「東京公共交通オープンデータチャレンジ」は、このように複雑な首都圏の公共交通のデータを一般の開発者に公開することで、オープンイノベーション方式で、誰にとっても使いやすい首都圏の公共交通の実現を目指して実施します。開発者は、Web サイト上で登録を行うことで、これらのデータを活用したスマートフォンアプリ、Web サービスなどを開発することができます。

2017年12月7日から2018年3月15日にかけて実施した第1回チャレンジでは、1000件近いユーザ登録と、約100件の応募がありました。2018年7月17日より実施している第2回チャレンジにも多数の応募が寄せられており、3月の結果発表を予定しています。

第3回チャレンジでは、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会開催都市である東京都とともに、公共交通オープンデータを2020年以降のレガシーとすることを目指します。詳細は別紙の開催概要等をご参照ください。

以上

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）

担当： 柏、山田 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

【別紙1】

<開催概要>

[主催]

公共交通オープンデータ協議会

[共催]

国土交通省、東京都、INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、
東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター

[特別協力]

東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社、
YRP ユビキタス・ネットワークング研究所

[協力]

小田急電鉄株式会社、小田急バス株式会社、神奈川中央交通株式会社、関東バス株式会
社、京王電鉄株式会社、京王電鉄バス株式会社、京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会
社、国際興業株式会社、相模鉄道株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、西武鉄道株
式会社、西武バス株式会社、全日本空輸株式会社、相鉄バス株式会社、東急バス株式会
社、東京急行電鉄株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、東京臨海高速鉄道株式会
社、東武鉄道株式会社、東武バス株式会社、成田国際空港株式会社、西東京バス株式会
社、日本空港ビルデング株式会社、日本航空株式会社、株式会社ゆりかもめ、横浜市交通
局

[オープンデータ・パートナー]

一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）、国土地理院、気
象庁、文化庁、気象ビジネス推進コンソーシアム、公益社団法人 全国公立文化施設協
会、G 空間情報センター

[後援]

IT 総合戦略本部（申請中）、総務省（申請中）

[スケジュール]

- コンテスト実施期間：2019年1月16日～2020年3月31日
- 応募期間：2019年1月16日～2019年11月15日
- 結果発表・表彰式：2020年1月（予定）

[募集内容]

公共交通オープンデータやその他のオープンデータを融合的に活用した、新しいアプリケーションやアイデアを募集します。

今回のコンテストでは、目前にせまった2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、障害を持つ方、訪日外国人の方、高齢者の方や東京に不慣れな方など、誰もが公共交通機関を使ってスムーズに目的地まで辿り着ける「東京」を実現する作品を、特に歓迎します。公共交通機関の情報を提供する作品、乗換の際の屋内外のスムーズな移動をサポートする作品、さらには移動そのものを楽しめる作品など、広くさまざまな作品・アイデアも期待します。(※「ながら(歩き)スマホ」問題に、ご配慮いただくようお願いいたします。)

スマートフォンアプリ、Webサービス、IoTガジェット等を想定しますが、それに限りません。実際に稼働するアプリケーションに限らず、プロトタイプやビジネスプランの応募であっても構いません。

本チャレンジのデータカタログサイト(<https://ckan-tokyochallenge.odpt.org/>)に掲載されているデータを利用することを必須としますが、連携オープンデータや他のデータを組み合わせた作品も歓迎します。

[公開データ]

第3回チャレンジでは、路線情報、時刻表情報、対訳表などの静的データ、電車やバスのリアルタイムな位置情報と運行情報、航空機の発着情報などの公共交通関連データを公開します。また、駅構内図、施設情報、歩行空間ネットワークデータ等のデータを整備・公開するほか、屋内や地下空間のスムーズな移動支援のためにBluetooth Low Energyビーコン等を設置し、そのデータも公開する予定です。

また、後援組織やオープンデータ・パートナーが公開するオープンデータやオープンAPIと組み合わせた提案も歓迎します。

詳細は、本コンテストWebサイト(<https://tokyochallenge.odpt.org/>)をご確認ください。

[審査会]

審査員による審査会を実施します。

- 審査員
 - 坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、INIAD（東洋大学情報連携学部）学部長
 - ほか

[表彰]

賞金総額は 200 万円を予定しています。その他、協賛組織からの特別賞も設置予定です。

[コンテスト Web サイト URL]

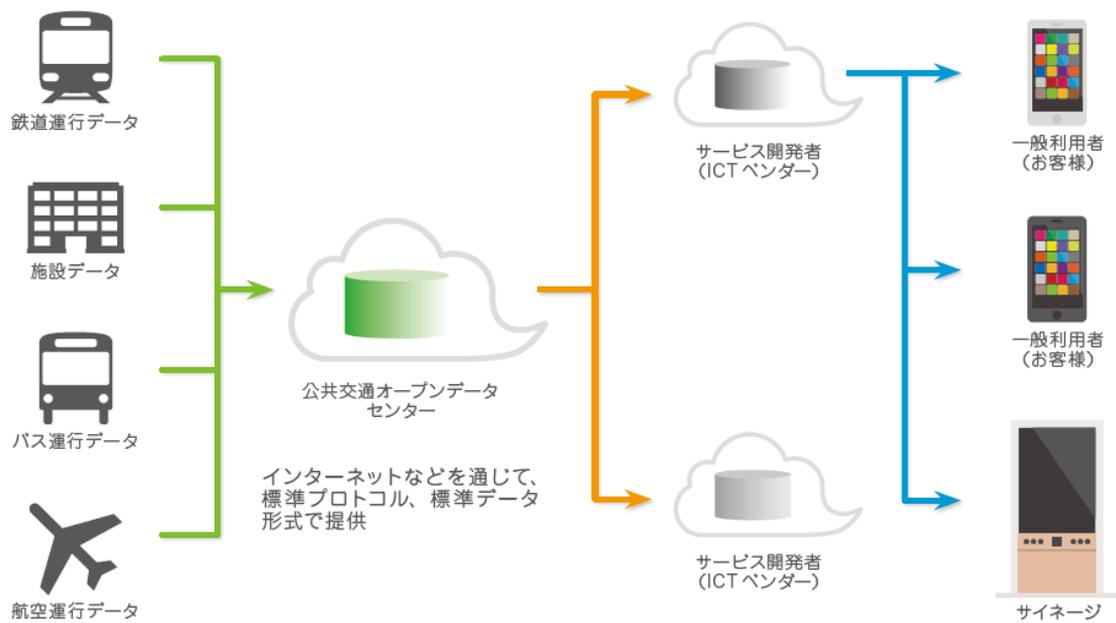
<https://tokyochallenge.odpt.org/>

<補足資料>

[公共交通オープンデータ協議会]

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者および ICT 事業者等 60 団体(2019 年 1 月 16 日現在)で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空の分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。鉄道、バス、航空などさまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の構築を目指しています。

<https://www.odpt.org/>



公共交通オープンデータセンター